

平成 26 年 度

# 事 業 報 告 書

自 平成 26 年 1 月 1 日

至 平成 26 年 12 月 31 日

公益財団法人 馬事文化財団

# 目 次

<b>I 根岸競馬記念公苑の事業</b>	1
<b>1 馬の博物館の事業</b>	1
(1) 特別展示等	1
(2) テーマ展	2
(3) 常設展示	2
(4) 馬事博物資料等の調査・研究	3
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	3
(6) 馬事博物資料の収集	3
(7) 資料の貸出	3
(8) 資料の管理・保管	4
(9) 普及イベント	4
(10) 馬に関する講習等	4
(11) 他館との交流	5
<b>2 馬展示事業</b>	5
(1) 馬の展示	5
(2) ふれあいイベント	6
(3) 春秋特別イベント	7
(4) 厩舎管理等	7
<b>3 馬文化の保存</b>	7
(1) 馬事伝統行事保存事業	7
(2) 在来馬種保存事業	7
<b>4 施設の管理運営及び公苑の整備</b>	8
<b>5 入館者・入苑者</b>	8
<b>II JRA 競馬博物館の事業</b>	8
<b>1 展示及び調査・研究</b>	8
(1) ギャラリー	9
(2) テーマコーナー	9
(3) 特別展示室	9
(4) エントランスホール	10
(5) 移動展示	10
(6) 常設展示機器等	10
(7) 映像ホール	10
(8) 競馬博物資料等の調査・研究	11
(9) 競馬博物資料の収集	11

(10) 資料の管理・保存	12
(11) 普及イベント	12
2 案内業務及び入館者	12
III 競馬振興会館（Gate J.）の事業	13
1 Gate J. 新橋の事業	13
2 Gate J. 梅田の事業	13
3 入館者	14
4 JRA60 周年記念イベント	14
IV 広報活動	15
1 馬の博物館	15
2 JRA 競馬博物館	15
3 Gate J. 新橋・梅田	15
V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	16
VI 庶務	16
1 評議員に関する事項	16
2 役員等に関する事項	16
(1) 役員	16
(2) 参与	16
(3) 職員及び組織図	17
3 評議員会及び理事会	17
(1) 評議員会	17
(2) 理事会	17

# 平成 26 年度 事業 報告

平成 26 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑 馬の博物館をはじめとする各施設において様々な事業を実施しました。

## I 根岸競馬記念公苑の事業

### 1 馬の博物館の事業

#### (1) 特別展示等

春季は、特別展『歌舞伎と馬』を開催しました。歌舞伎は、江戸初期(慶長年間)に<sup>いずものおくに</sup>出雲阿国がはじめ、民衆の支持のもと様々な変遷を経て今日まで発展してきました。平成 20 年(2008)には無形文化遺産に登録され、現在も大舞台で名俳優たちが私たちの目を楽しませてくれています。

同展では、400 ほどあると言われる歌舞伎演目の中から馬が登場する演目に着目し、歌舞伎で演じられる馬を中心に紹介しました。

美術資料としては、歌舞伎の初期の様子を描いた「阿国歌舞伎図屏風」(出光美術館蔵)・「京名所図屏風」(サントリー美術館蔵)などを展示しました。

ほかにも、馬が登場する演目「<sup>いちのたにふたばぐんき</sup>一谷嫩軍記」、「<sup>げんべいぬのびきのたき</sup>源平布引滝」、「<sup>や</sup>矢の根」、「<sup>おぐりはんがん</sup>小栗判官」、「<sup>おうみ</sup>近江のお兼」、「<sup>しおぼらたすけいちだいき</sup>塩原多助一代記」、「<sup>うまぬすびと</sup>馬盗人」の筋書きや辻番付、浮世絵、舞台上で使用される小道具などを展示し、馬の役者が使用している「馬のあし」や、歌舞伎の名女形で大の競馬ファンとしても知られた七代目中村芝翫丈愛用の品々も紹介しました。

さらに、「一谷嫩軍記」の舞台(大道具)を再現したジオラマを展示するとともに、馬が登場する 7 演目をまとめた映像を流すなど、効果的な展示に努めました。

秋季は JRA 創立 60 周年を記念する企画展示として、『サラブレッドとその美術』を開催しました。

まず、入館者よりサラブレッドに関する様々なご質問を多く受けることから、毛色・白斑・歩法のような基礎知識をイラストで表すとともに、ジェネラルスタッドブックや馬具類等を展示し、サラブレッドに関する一般の理解を深めるとともに競馬への関心を持っていただくよう企画しました。

また、およそ 300 年にわたるサラブレッドの歴史の中で、多くの芸術家が競走馬のスピードやその姿に魅了され、多種多様な制作活動を行いました。制作された資料は芸術家の展覧会に利用されるほかは、競走馬の展示に参考資料として扱われる程度でした。このため今回の展示では、馬の博物館が所蔵するサラブレッド関係の資料を集成・展示することとしました。

サラブレッド種が成立する前の馬が描かれたスタッブズ、ジェリコー、ドラクロア制作の版画を展示するとともに、サラブレッドの時代ではアドルセイ、中畑艸人らの油彩画、ウォード、マネ、ロートレックらの版画、ボヌール、池田勇八、三井高義らの制作したブロンズ像を展示し、サラブレッドの美術を多方面からご覧いただける展覧会としました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
4. 26～6. 8	特別展 歌舞伎と馬	第 2・3 展示室
10. 4～12. 7	企画展 サラブレッドとその美術	第 2・3 展示室

## (2) テーマ展

『馬！午！ウマ！うま尽くし展』は、午年にちなみ多数の馬を表現した絵画や工芸品を展示しました。江戸時代の「百馬図」や江戸時代から明治時代にかけて作られた「馬尽くし」「馬車尽くし」などにより、前例のない数の馬をご紹介します。さらに、展示室内の馬の合計数を当てるクイズを行い、家族連れ入館者のご好評を得ました。

また、『騎射』展では、中国北方騎馬民族の狩猟からはじまり、平安時代の行事である騎射、武家行事の流鏑馬・笠懸・犬追物などの考古・工芸資料、絵画により、人類と馬とのかかわりについて紹介しました。

『東国の馬と祭り』は、平成 25 年の「東北の馬と祭り」に続くシリーズで、相馬野馬追など東北地方南部から関東地方で馬にゆかりのある祭礼を写真で展示して、日本の文化に刻んだ蹄跡をふりかえりました。

『日本在来馬』では、写真と公益社団法人日本馬事協会や各地の保存会よりいただいた印刷物・報告書により、在来馬の近年における状況を公開し、お問い合わせの多い在来馬に関する情報を提供しました。

### [第 2 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H25. 12. 14～2. 23	初春吉例 馬の屏風
2	3. 1～4. 20	馬！午！ウマ！うま尽くし展
3	6. 14～9. 28	騎射
4	12. 13～H27. 2. 22	馬具のふしぎ

### [第 3 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H25. 12. 14～2. 23	馬頭観音-写真で見る信仰の世界-
2	3. 1～4. 20	東国の馬と祭り
3	6. 14～9. 28	日本在来馬
4	12. 13～H27. 2. 22	ピカソと「真夜中の馬」

## (3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第 1 展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第 2 展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第 4 展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

平成27年度開催予定のテーマ展『馬からできるもの（仮称）』の開催準備のため、東京都立皮革技術センターにおいて調査を行いました。

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	歌舞伎と馬
2	図録	サラブレッドとその美術
3	紀要	馬の博物館研究紀要 第19号

(6) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名
1	伊達政宗書状 1点
2	羽柴秀吉朱印状 1点
3	アンディ・ウォーホル作「ウィリー・シューメーカー」I・II 2点

② 寄贈を受けた資料

	資料名
1	やまさき拓味「龍蹄の門第1回表紙」（アクリル画）
2	河辺虚仙著『競馬通話 馬券買ふまで』 他2冊

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	三彩女子騎馬俑 他3点	横浜ユーラシア文化館	H25. 10. 13 ～1. 22
2	馬車鉄道模型 他14点	板橋区立郷土資料館	1. 17～3. 28
3	小田原城下図屏風 他1点	東京都江戸東京博物館	2. 28～5. 14
4	古式絵馬複製 他43点	東京農業大学「食と農」の博物館	3. 19～9. 20
5	巴紋花丸蒔絵鞍鐙(個人蔵)	学習院大学史料館	4. 3～6. 18
6	牛馬蒔絵手箱 他5点	石川県輪島漆芸美術館	4. 19～6. 4
7	釈迦出城図レリーフ	MIHO MUSEUM	7. 9～8. 21
8	賤ヶ岳合戦図屏風	福岡市博物館	7. 18～10. 1
9	フォトコンテスト写真 20点	JRA 馬事公苑	8. 28～9. 26
10	ヒラコテリウム模型 他25点	山梨県立博物館	9. 11～12. 5

11	洛中洛外図屏風 他 68 点	京都高島屋	10. 14 ～10. 30
12	東京上野不忍大競馬ノ図 他 4 点	千葉県立中央博物館大多 喜城分館	10. 17 ～12. 17

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました。(8月31日～9月1日)

(9) 普及イベント

① 「サクラウィーク」

春休み期間中のご家族向け企画として新たに以下の催しを行いました。

- サクラの花びらに模した紙片で馬を造形する「特別ワークショップ」  
(3月22日、29日、4月6日)
- 馬との写真撮影会「馬と写真を撮ろう」  
(3月23日、30日、4月5日)

② 「夏休み講座」、「工作教室」等

夏休み期間中のお子様向け特別企画として以下の催しを行いました。

- 馬に関する講座「うま博士になろう！」  
(8月3日、10日、17日、24日)
- 馬のスケッチ大会「ポニーセンターの馬をえがいてみよう」  
(7月19日、26日)
- 馬のペーパークラフト&ポニーと散歩ができる工作教室「馬のペーパークラフトをつくろう」(8月3日)
- 蹄鉄を活用したオリジナルコースターの製作&ポニーと散歩できる工作教室「蹄鉄コースターをつくろう」(7月27日)
- 公苑や展示に関する問題を出題した「夏休みクイズラリー」  
(7月20日～8月10日)

③ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」

横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ 2014」の一環として、博物館イベントホールにて、横浜市民広間演奏会の皆様にコンサートを披露していただきました。ご家族連れの皆様に喜んでいただける楽曲を中心に、楽しく盛況に行われました。(12月7日)

(10) 馬に関する講習等

① 講習

学習院大学史料館、JRA 馬事部、山梨県立博物館等の依頼により馬事文化を普及・啓発する講義を依頼先にて実施しました。

装蹄師認定講習会のカリキュラムの中に「馬の博物館見学」が組み込まれており、来苑の際に馬文化や競馬の歴史・博物資料等についての講義を実施しました。

また、畜産学・獣医学・文化財学等の専攻科目を有する大学（東京農業大学・日本獣医生命科学大学・京都造形芸術大学）の校外学習の受け入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

② 学芸員課程学生の博物館実習

関東学院大学・駒澤大学・聖心女子大学・筑波大学・東京学芸大学・東海大学・日本女子大学・日本大学・武蔵野美術大学・立教大学より 10 名の実習生を受け入れました。（7 月 30 日～8 月 10 日）

(11) 他館との交流

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行いました。

## 2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として、実馬展示を実施しました。

多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等の他、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を整えました。

また、馬匹の更新については、新たに JRA 競馬学校と JRA 馬事公苑から各 1 頭が寄贈されたほか、11 月には平成 23 年の中山グランドジャンプ(J・G I)に優勝したマイネルネオス号が馬主から寄贈され、展示馬の充実を図りました。

なお、これに伴い 2 頭（ダンサー号・バスカル号）が退厩しました。

繋 養 馬 一 覧 表 (平成 26 年 12 月 31 日現在) (入厩順)

馬名	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	品種
マークス	尾花栗毛	1992年5月	22	セン	標茶町	141cm	ハフリンガー
マロン	栗毛	1993年6月	21	牝	和歌山	72cm	アメリカンミニチュアホース
ペルニー	茶斑	1998年 (推定)	17	セン	不詳	102cm	中半血
グッバイレディー	芦毛	1993年4月	21	牝	標茶町	161cm	ウエストファーレン
シンザンパーク	鹿毛	1994年3月	20	セン	三戸郡	154cm	アングロアラブ
ミカン	栗毛	2010年5月	4	セン	今治市	100cm	野間馬
ゆき	河原毛	2011年4月	3	牝	函館市	127cm	北海道和種
ホワイトミニ	駁栗	1998年4月	16	セン	音更町	85cm	ミニチュアホース
マイネルキッツ	栗毛	2003年3月	11	セン	新冠町	164cm	サラブレッド
シザー Z ※1	鹿毛	2005年6月	9	セン	オランダ	168cm	Zangersheide
マイネルネオス ※2	鹿毛	2003年3月	11	セン	新冠町	160cm	サラブレッド
ヌアージュ・デ・ポリー ※3	鹿毛	2001年9月	13	セン	フランス	167cm	セルフランセ

- ※1 9月11日 JRA 競馬学校より寄贈
- ※2 11月6日 ビッグレッドファームより寄贈
- ※3 12月19日 JRA 馬事公苑より寄贈

(2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるとともに、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬及び馬車の試乗会

毎月第1日曜日と第3日曜日（1月～3月は第3日曜日のみ実施）に、当日の馬の博物館入館者を対象とした体験乗馬及び馬車の試乗会を開催しました。

② にんじんタイム

毎週土曜日、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬に触れることのできる機会を提供しました。

③ 体験学習講座

夏季休暇中、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う『夏休み一日愛馬教室』を開催しました。（8月20日～22日）

④ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、自らにんじんを与え、馬に触れることのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れるとともに展示馬を活用した出張訪問を行いました。

（職業体験学習）

- ・横浜市立根岸中学校(2年)4名 2月5日
- ・川崎市立平中学校 (2年)3名 1月22日
- ・横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校(2年)1名  
1月15日・16日

（出張訪問）

- ・学校法人聖マリア学園 さゆり幼稚園 5月16日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、外部団体等のイベントへの協力を行いました。

- ・米海軍根岸フレンドシップデーへの協力  
4月12日（主催：米海軍横須賀基地根岸支所）
- ・根岸線(桜木町駅～磯子駅)開業50周年感謝デーへの協力  
5月18日（主催：JR東日本横浜支社）
- ・米海軍根岸盆踊り祭りへの協力  
8月16日（主催：米海軍横須賀基地根岸支所）

・はまりんフェスタ in 新羽イベントへの協力

10月14日（主催：横浜市交通局）

(3) 春秋特別イベント

春季は、ゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日』を開催し、体験乗馬や馬車の試乗会のほか、公益社団法人大日本弓馬会による伝統馬事芸能「流鏝馬・笠懸」の披露や「マイネルキッツ×松岡正海ジョッキー・マイネルキッツの蹄鉄プレゼント抽選会」を行いました。

秋季は、秋晴れの11月3日“文化の日”に『馬とのつどい2014』を開催し、JRA馬事公苑による「ファンタジック・ホースショー」の披露に加え、新たに全馬によるパレード&馬匹紹介、在来馬とのふれあいを実施する等、内容を充実させて実施しました。

月日	催物（集客）	内容
5.5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 8,800人・ 対前年比 103.5%)	流鏝馬・笠懸の実演、天皇賞馬マイネルキッツ×松岡正海ジョッキー・マイネルキッツの蹄鉄プレゼント抽選会、蹄鉄造りの実演、馬・馬車の試乗会、金管五重奏の演奏 他
11.3	馬とのつどい2014 (来場者 5,500人・ 対前年比 458.3%)	ファンタジック・ホースショー、マイネルキッツの蹄鉄プレゼント抽選会・写真撮影会、蹄鉄造りの実演、馬・馬車の試乗会、金管五重奏の演奏 他

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理並びにお客様への快適な展示環境の提供に努めました。

### 3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を行う42団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する8種類の在来馬の保存活動を行う団体に対し助成金を交付しました。

また、JRA60周年記念・Gate J.出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来馬保護チャリティーイベント」を実施し、一般のお客様から合計1,430,052円の募金のご協力をいただきました。募金については、有効な保存活動の推進に資するため、平成27年度に在来馬保存活動の団体に寄贈する予定です。

#### 4 施設の管理運営及び公苑の整備

公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。  
また、草花の植栽や樹木の剪定等を行い公苑の美化に努めました。

#### 5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	24日	806	242	43	1,091	45	24日	13,220	551
2月	17日	440	82	286	808	48	21日	9,290	442
3月	28日	1,271	427	83	1,781	64	28日	19,100	682
4月	22日	1,633	468	512	2,613	119	26日	29,150	1,121
5月	28日	3,477	1,645	870	5,992	214	28日	33,570	1,199
6月	21日	668	187	428	1,283	61	25日	11,280	451
7月	28日	776	298	82	1,156	41	28日	11,910	425
8月	20日	766	300	70	1,136	57	27日	11,330	420
9月	25日	957	277	124	1,358	54	26日	20,190	777
10月	24日	861	576	644	2,081	87	27日	21,152	783
11月	28日	2,639	946	339	3,924	140	28日	26,950	963
12月	17日	546	177	82	805	47	23日	14,348	624
26年計	282日	14,840	5,625	3,563	24,028	85	311日	221,490	712
25年計	276日	14,415	4,861	4,382	23,658	86	316日	206,170	652
前年比 (%)	102.2	102.9	115.7	81.3	101.6	98.8	98.4	107.4	109.2

※2月8日・9日・15日 積雪のため臨時休苑・休館

\*1日最高入館者数 3,410人 5月5日

\*1日最高入苑者数(概数) 8,800人 5月5日

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
169	423	122	1,932	13	314	23	798	62

## II JRA 競馬博物館の事業

### 1 展示及び調査・研究

春季には、JRA 創立 60 周年を記念し、特別展『JRA60 周年記念 THE DIAMOND JUBILEE～中央競馬の軌跡～』を開催しました。同展では、JRA60 年の歩みを振り返るとともに時代を彩った著名馬のレース写真や関連資料のほか、日本の在来牝系とその活躍馬についても紹介しました。また、日本ダービー当日には、皇太子殿下に行啓いただき、同展をご観覧いただくとともに、特別公開した馬の博物館所蔵資料についてもご高覧いただきました。

秋季には、JRA60 周年記念特別展示として、『英国ジョッキークラブ秘蔵競馬絵画展』を開催しました。英国ジョッキークラブに貸出していただいた

ジョージ・スタッブズ「エクリプス」やアルフレッド・マニングズ「ステイブ・ドノヒュー」をはじめとする名画 10 点のほか、英国競馬の歴史と伝統を物語る関係資料を合わせて展示することにより、文化・芸術的な側面から見た競馬の魅力を紹介しました。英国でもほとんど公開されない作品であることに加え、JRA 広報部や東京競馬場との連携による積極的な広報活動により、競馬ファンだけではなく、美術愛好家などこれまで当館に足を運んだことのない客層の方々にも多数来館いただき盛況を博しました。同展会期中の入館者は 23,639 名でした。

また、同時開催として一般社団法人中央競馬振興会との共催により、特別展『英国ダービー展』を開催しました。同展では、世界のダービーの祖となった「英国ダービー」の歴代優勝馬などを紹介するとともに、三冠馬の版画やエプソム競馬場の熱狂を描いた絵画を展示しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	1. 25～4. 20	JRA60 周年記念 JRA ポスター展～中央競馬のヒーローたち～
2	4. 26～6. 29	春季特別展 JRA60 周年記念 THE DIAMOND JUBILEE ～中央競馬の軌跡～
3	7. 19～9. 21	UMARTs2014 うまからうまれた 15 のアート
4	10. 1～H27. 1. 25	秋季特別展 英国ダービー展

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H25. 9. 4～2. 6	THE WORLD JOCKEYS 中央競馬を沸かせた海外のトップジョッキーたち【Part II】
2	2. 8～3. 30	2013 年度 JRA 賞展
3	4. 2～5. 18	伝説の圧勝劇～記憶に残る主役たち～ 第 1 期 ファンが選んだ 20 世紀の圧勝劇
	5. 21～6. 29	〃 第 2 期 ファンが選んだ 21 世紀の圧勝劇
	7. 12～9. 21	〃 第 3 期 博物館が選んだ圧勝劇
4	10. 1～11. 3	JRA60 周年記念特別展示「英国ジョッキークラブ秘蔵 競馬絵画展」
5	11. 8～H27. 2. 5	馬と競馬のあそび道具展

※4・5 はテーマコーナーの他展示室 2 の一部も会場として開催

(3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	4. 26～6. 29	JRA60 周年記念 THE DIAMOND JUBILEE ～中央競馬の軌跡～ ※6 月 1 日（日本ダービー当日）は、皇太子殿下行啓に伴い馬の博物館所蔵資料を展示（非公開）
2	10. 1～H27. 1. 25	英国ダービー展

## (4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H25. 12. 7～2. 6	第 33 回ジャパンカップ優勝馬展
2	2. 1 ～3. 23	競馬人間交差点 第 1 回 寺山修司×山野浩一
3	2. 15～4. 20	2014 年度新人騎手紹介展
4	3. 26～5. 18	競馬人間交差点 第 2 回 今井壽恵×内藤律子
5	4. 26～7. 27	第 81 回東京優駿（日本ダービー）展
6	5. 21～6. 29	競馬人間交差点 第 3 回 大川慶次郎×井崎脩五郎
7	8. 2～12. 7	祝エルコンドルパサー号 殿堂入り記念展
8	8. 2～12. 7	平成 26 年度 新頭彰者展
9	12. 13～H27. 2. 5	第 34 回ジャパンカップ優勝馬展

## (5) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	H25. 11. 30 ～1. 26	ライバルの記憶～中央競馬 史に刻まれた激闘譜	阪神競馬場アメニティ ホール
2	H25. 11. 9 ～1. 19	2012 年秋&2013 年春の GI プ レイバック展	東京競馬場フジビュー スタンド 3F (ウエストホール両脇)
3	1. 25～5. 18	2013 年春&秋の GI プレイバ ック展 ①	
4	5. 24～11. 2	〃 ②	
5	11. 8～ H27. 1. 25	2013 年秋&2014 年春の GI プ レイバック展	
6	12. 6～ H27. 1. 25	伝説の圧勝劇～記憶に残る 主役たち～	阪神競馬場アメニティ ホール

## (6) 常設展示機器等

展示パネルや常設展示機器「サラブレッドサイアーライン」、「サラブレッドモニタージュ」に第 81 回日本ダービー優勝馬ワンアンドオンリー号の情報を追加更新しました。

常設展示機器「重賞競走ビデオ BOX」には、平成 26 年度分の重賞競走映像を追加しました。

メモリアルホールには、本年度新たに選出された頭彰馬エルコンドルパサー号の関連資料及び頭彰者 6 名の紹介展示を追加しました。

## (7) 映像ホール

JRA60 周年を記念して、過去の全周映像作品の中から、1 作目である「Wind on Green」を 1 月 25 日から 6 月 1 日まで上映し、続いて日本各地の伝統馬事芸能を紹介した 2 作目の作品を 6 月 4 日から 8 月 17 日まで上映しました。

また、『英国ジョッキークラブ秘蔵 競馬絵画展』期間中の 10 月 8 日から 11 月 3 日の間、イギリス・ニューマーケットを紹介した作品を上映しました。11 月 6 日からは同じイギリスを舞台とした作品をリバイバル上映しました。

〈上映品目〉

上映期間	タイトル
1. 25～6. 1	Wind on Green (1991 年作品)
6. 4～8. 17	風の蹄跡～人と祭りと馬と～ (1992 年作品)
8. 20～10. 5	ブローニュの森の夢 華麗なる凱旋門賞 (1997 年作品)
10. 8～11. 3	NEW MARKET サラブレッドがつくった街 (1995 年作品)
11. 6～H27. 1. 25	The Season～女王陛下と馬たちの祝祭 (1998 年作品)

(8) 競馬博物資料等の調査・研究

特別展『THE DIAMOND JUBILEE～中央競馬の軌跡～』及びテーマ展『馬と競馬のあそび道具展』開催のため、JRA 図書室、馬の博物館、株式会社公文教育研究会において調査を行いました。

(9) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	オルフェーヴル号 蹄鉄 (第 78 回日本ダービー優勝時使用)
2	ロードカナロア号 馬主服 (第 56 回京阪杯・第 17 回シルクロード S 優勝時使用)
3	ロードカナロア号 額装蹄鉄
4	第 81 回日本ダービー記念ゼッケン (全騎乗騎手サイン入り)
5	第 81 回日本ダービー記念ゼッケン (TOKIO メンバーサイン入り)
6	ワンアンドオンリー号 馬主服 (第 81 回日本ダービー優勝時使用)
7	横山典弘騎手 鞭 (第 81 回日本ダービー優勝時使用)
8	ワンアンドオンリー号 蹄鉄 (第 81 回日本ダービー優勝時使用)
9	ワンアンドオンリー号 競走ゼッケン (第 81 回日本ダービー優勝時使用)
10	エピファネイア号 馬主服 (第 34 回ジャパンカップ優勝時使用)
11	クリストフ・スミヨン騎手 鞭
12	第 60 回日本ダービー 優勝調教師賞 (伊藤雄二元調教師・ウイニングチケット号)
13	第 50 回日本ダービー 優勝調教師賞 (松山康久元調教師・ミスターシービー号)
14	1998 年ジャック・ル・マロワ賞 優勝トロフィー (岡部幸雄元騎手・タイキシャトル号)
15	1998 年香港国際カップ 優勝騎手賞 (河内洋元騎手 (現調教師) ・ミッドナイトベット号)
16	柴田政人元騎手 (現調教師) 使用馬具 (鞍・長靴)
17	1999 年サンクルー大賞 副賞 (エルコンドルパサー号)
18	エルコンドルパサー号 頭絡
19	エルコンドルパサー号 蹄鉄
20	2014 年ドバイワールドカップ レーシングプログラム
21	2014 年凱旋門賞 レーシングプログラム

22	漫画家やまさき拓味氏原画作品 2点
----	-------------------

また、JRA 図書室が所蔵していた競馬関係図書資料の寄贈を受けました。

② 購入した資料 (1点 20万円以上)

	資料名
1	1908年ロンドンオリンピック金メダル 1点

(10) 資料の管理・保存

- ① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(11) 普及イベント

- ① 春休み特別企画として3月23日、29日に工作教室「みんなで馬のグッズをつくろう～馬のペーパークラフトづくり」を開催しました。
- ② 武蔵野美術大学芸術文化学科アーツプロジェクトの皆様の作品を展示する『UMARTs2014 うまからうまれた15のアート』開催期間中の8月3日、24日及び9月21日に「キミとウマと、ときどきアート」と題し、「絵馬づくり」や「飾り馬づくり」等のワークショップを開催しました。
- ③ テーマ展『馬と競馬のあそび道具展』の関連イベントとして11月29日、12月7日、23日に小学生以下を対象とした「ずぼんぼをつくろう！」「すごろくであそぼう！」を開催しました。

## 2 案内業務及び入館者

総合案内所をはじめ館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考			
1月	4日	936	234	開催日 0日	場外発売 2日	平日 2日	
2月	21日	6,615	315	開催日 8日	場外発売 4日	平日 9日	
3月	22日	4,606	209	開催日 0日	場外発売 11日	平日 11日	
4月	21日	8,518	406	開催日 2日	場外発売 6日	平日 13日	
5月	23日	19,822	862	開催日 9日	場外発売 0日	平日 14日	
6月	21日	9,169	437	開催日 9日	場外発売 0日	平日 12日	
7月	14日	3,534	252	開催日 0日	場外発売 6日	平日 8日	
8月	23日	4,587	199	開催日 0日	場外発売 10日	平日 13日	
9月	20日	4,787	239	開催日 0日	場外発売 8日	平日 12日	
10月	24日	16,095	671	開催日 7日	場外発売 3日	平日 14日	
11月	22日	20,126	915	開催日 11日	場外発売 0日	平日 11日	
12月	17日	5,659	333	開催日 0日	場外発売 8日	平日 9日	
26年計	232日	104,454	450	開催日 46日	場外発売 58日	平日 128日	
25年計	238日	110,968	466	開催日 45日	場外発売 61日	平日 132日	
前年比 (%)	97.5	94.1	96.6				

※1月5日～24日 館内排煙設備工事のため臨時休館

※6月1日(日本ダービー当日)は、皇太子殿下啓に伴う開館時間変更  
(15:30～17:30)

※7月2日～11日 館内整備のため臨時休館

\*1日最高入館者数

開催日 5,210人 11月2日 (天皇賞・秋競走当日)

場外発売日 1,505人 12月28日 (有馬記念競走当日)

祝・平日(非開催日) 673人 11月3日 (英国JC秘蔵競馬絵画展 最終日)

\*1日平均入館者数/総入館者数

開催日 1,422人/65,421人

場外発売日 371人/21,494人

祝・平日(非開催日) 137人/17,539人

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
618	199	348	342	22	182	159	2,261	3,612

### III 競馬振興会館 (Gate J.) の事業

#### 1 Gate J. 新橋の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H25.11.13 ～H26.1.3	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕 (後期)
2	2.5～3.24	JRA60年史パート1 黎明期～昭和34年
3	3.26～6.2	JRA60年史パート2 昭和35年～昭和51年
4	6.4～8.4	JRA60年史パート3 昭和52年～平成3年
5	8.6～10.20	JRA60年史パート4 平成3年～平成10年
6	10.22～12.15	JRA60年史パート5 平成11年～平成18年
7	12.17～H27.2月	JRA60年史パート6 平成19年～平成26年

② Gate J. 内スタジオにおける、中央競馬のGⅠ競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネルの放送番組「草野仁のスタジオ Gate J.」の公開収録に加え、JRA60周年記念として主要競馬場における出張イベント(トークショー&在来馬保存チャリティーイベント)及びウインズでの出張イベントを計49回実施しました。

③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設や展示案内等の紹介を行いました。

#### 2 Gate J. 梅田の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H25.11.16 ～H26.2.4	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕 (前期)

2	2.8～3.25	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕（後期）
3	3.29～6.3	JRA60年史パート1 黎明期～昭和34年
4	6.7～8.5	JRA60年史パート2 昭和35年～昭和51年
5	8.9～10.28	JRA60年史パート3 昭和52年～平成3年
6	10.31～12.19	JRA60年史パート4 平成3年～平成10年
7	12.20～H27.2月	JRA60年史パート5 平成11年～平成18年

- ② Gate J. 内において中央競馬のGI競走等のレース検討会等のトークショーに加え、JRA60周年記念として主要競馬場における出張イベント（トークショー&在来馬保存チャリティーイベント）及びウインズでの出張イベント等を計9回実施しました。
- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組等を放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を行いました。

### 3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	12,018	501	15日	24,337	1,622
2月	25日	11,549	462	16日	16,979	1,061
3月	27日	12,639	468	20日	25,184	1,259
4月	24日	12,408	517	18日	24,963	1,387
5月	26日	14,229	547	17日	25,770	1,516
6月	26日	12,256	471	18日	26,455	1,470
7月	25日	11,102	444	17日	18,324	1,078
8月	27日	11,830	438	18日	19,674	1,093
9月	24日	10,432	435	16日	19,153	1,197
10月	28日	13,338	476	19日	23,625	1,243
11月	25日	12,822	513	18日	28,172	1,565
12月	24日	14,563	607	17日	30,055	1,768
26年計	305日	149,186	489	209日	282,691	1,353
25年計	301日	143,832	478	205日	288,179	1,406
前年比 (%)	101.3	103.7	102.3	102.0	98.1	96.2

\*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 1,227人 12月26日（有馬記念イベント実施日）

Gate J. 梅田 3,624人 1月5日（中山・京都金杯競走当日）

### 4 JRA60周年記念イベント

JRA60周年記念イベントとして、前述の主要競馬場（4大場+福島・中京）でのイベントのほか、武豊騎手等をゲストに招いての「第150回天皇賞（秋）フェスティバル」（イイノホール）をGate J.出張イベントとして実施しました。その他、秋に京都高島屋で開催された「JRA60th Anniversary “優駿～fine

horse〜”」への特別協賛や日本橋三越本店での JRA60 周年記念展示「馬と歌舞伎」への協力を行いました。

#### IV 広報活動

##### 1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業フィルムを新たに制作し、JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 地元メディアに対して適時、情報提供を積極的に行うとともに、テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ③ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ④ オリジナルグッズやパンフレット等を、各イベントにおいて効果的に配布することにより、広報活動の一助としました。

##### 2 JRA 競馬博物館

- ① JRA60 周年記念特別展示『英国ジョッキークラブ秘蔵 競馬絵画展』については、JRA 広報部及び東京競馬場と協力し、各種媒体を通じて積極的な広報を行うとともに、美術関係施設（大学、美術館など）への案内配布、美術系団体とタイアップしての展示告知なども行いました。また、マスコミ向けに内覧会（9月30日）を行い、石坂浩二氏（特別展示アンバサダー）のトークショーを開催しました。
- ② JRA 競馬博物館の商業フィルムを新たに制作し、JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ③ JRA 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に利用し、来場者等への広報活動を展開しました。
- ④ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑤ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ⑥ 旅行業者に展示情報を随時通知し来館誘致に努めました。
- ⑦ オリジナルカレンダーを制作し、クイズラリー・アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。

##### 3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 案内用のリーフレットを増刷し JRA 各施設に配布するとともに、オリジナルグッズやパンフレット等を、Gate J. や競馬場等における各イベントで効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページにイベント情報等を随時更新し、来館促進を図りました。

- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルム及び特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。

## V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

## VI 庶務

### 1 評議員に関する事項（平成 26 年 12 月 31 日現在）

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
小笠原信夫	H25. 1. 4	
岡部 長忠	H25. 1. 4	
酒井 俊夫	H25. 1. 4	H26. 9. 4
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
横山 清弘	H25. 1. 4	H26. 11. 25
宮本 恭一	H26. 9. 4	
福井 紳弥	H26. 12. 1	

### 2 役員等に関する事項（平成 26 年 12 月 31 日現在）

#### (1) 役員

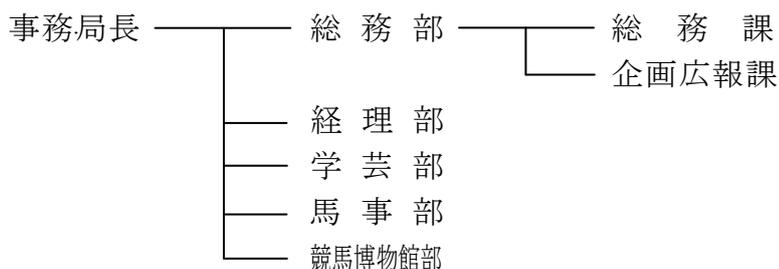
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	畑山 光伸	H24. 3. 1		
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16		
専務理事	仁岸 正之	H25. 3. 6	H26. 9. 15	
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		
理事	小川 欽司	H15. 10. 1		非常勤
理事	山崎 郁夫	H15. 10. 1		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	福島 輝也	H26. 2. 27		非常勤
監事	五島 崇	H23. 3. 1	H26. 2. 27	非常勤

#### (2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
富岡 義雄	H26. 3. 1		非常勤

(3) 職員及び組織図

職員 19 名、嘱託 1 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2. 27	①平成 25 年度事業報告書について (H25. 1. 4~12. 31)	7 名	7 名	全員賛成
		②平成 25 年度収支決算書について (H25. 1. 4~12. 31)	7 名	7 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	7 名	7 名	全員賛成
		④役員報酬等の総額の設定について	7 名	7 名	全員賛成
		⑤任期満了に伴う役員選任について	7 名	7 名	全員賛成
2	9. 4	①評議員の選任について	7 名	5 名	全員賛成
		②理事の選任について	8 名	6 名	全員賛成
3	決議の省略 11. 25	①当財団評議員として福井紳弥様を選任することについて	7 名	7 名	全員賛成
4	12. 11	①平成 27 年度事業計画書について	7 名	7 名	全員賛成
		②平成 27 年度収支予算書について	7 名	7 名	全員賛成
		③役員報酬等の総額の設定について	7 名	7 名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2. 13	①平成 25 年度事業報告書について (H25. 1. 4~12. 31)	5 名	5 名	全員賛成
		②平成 25 年度収支決算書について (H25. 1. 4~12. 31)	5 名	5 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	5 名	5 名	全員賛成
		④第 1 回評議員会の開催について (報告事項)	5 名	5 名	全員賛成
		①理事長及び専務理事による業務の 執行状況について			
2	2. 27	①任期満了に伴う理事長、専務理事、 常務理事の選定について	5 名	5 名	全員賛成
3	決議の省略 8. 24	①第 2 回評議員会の開催について	5 名	5 名	全員賛成

4	決議の省略 9.16	①専務理事の選定について	5名	5名	全員賛成
5	決議の省略 11.8	①当財団評議員として福井紳弥様を選任するよう各評議員に提案することについて	5名	5名	全員賛成
6	12.4	①平成27年度事業計画書について ②平成27年度収支予算書について ③資産管理・運用規程の制定について ④職員給与規程の一部改正について ⑤役員の報酬等の総額の設定について ⑥第4回評議員会の開催について (報告事項) ①理事長及び専務理事による業務の執行状況について	5名 5名 5名 5名 5名 5名	5名 5名 5名 5名 5名 5名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成